

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |             |     |               |
|----------------|-------------|-----|---------------|
| ○事業所名          | しんがくどう宮崎    |     |               |
| ○保護者評価実施期間     | 令和8年 2月 16日 |     | ～ 令和8年 3月 7日  |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)      | 39名 | (回答者数) 13名    |
| ○従業者評価実施期間     | 令和8年 2月 16日 |     | ～ 令和8年 2月 28日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)      | 4名  | (回答者数) 4名     |
| ○訪問先施設評価実施期間   | 令和8年 2月 16日 |     | ～ 令和8年 3月 7日  |
| ○訪問先施設評価有効回答数  | (対象者数)      | 39名 | (回答者数) 23名    |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和8年 3月 23日 |     |               |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み(※)だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等  | さらに充実を図るための取組等  |
|---|--|--|---|
| 1 | 具体的に分かりやすい助言・報告による支援の質の高さ                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>訪問支援報告書において、支援内容・助言・具体的な関わり方を分かりやすく記載</li> <li>子どもの様子や変化を丁寧に共有し、現場や家庭で活用しやすい形で提供</li> <li>個別支援において具体性の高い助言を行うことを重視</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>集団場面における支援方法の提案を強化</li> <li>支援の成果や変化を可視化し、より実感できる形で共有</li> <li>専門的視点を活かした新たな支援提案の充実</li> </ul> |
| 2 | 関係機関・保護者との連携力と信頼関係の構築                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>保護者・園・学校との情報共有を丁寧に実施</li> <li>訪問先との関係性を重視し、配慮ある支援を実施</li> <li>保護者との橋渡し役として共通理解の形成を支援</li> </ul>                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>三者連携(保護者・園・事業所)の機会の充実</li> <li>連携内容の見える化(記録・報告の強化)</li> <li>就学・移行期の連携体制の強化</li> </ul>          |
| 3 | 利用児・保護者に寄り添った柔軟で継続的な支援                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>個々の特性や状況に応じた支援の実施</li> <li>継続的な関わりの中で成長を把握し支援に反映</li> <li>相談しやすい体制づくりと迅速な対応</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>面談機会や相談機会の計画的な確保</li> <li>家族支援(ペアレントトレーニング等)の充実</li> <li>利用児の心理的負担に配慮した支援調整</li> </ul>         |

|   | 事業所の弱み(※)だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等   | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等  |
|---|--|---|---|
| 1 | 支援内容や取組の「見える化・周知不足」                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>実施している支援や取組が資料や説明として十分に伝わっていない</li> <li>情報発信や説明の機会にばらつきがある</li> </ul>                | <ul style="list-style-type: none"> <li>報告書の記載内容の統一と充実</li> <li>教材、支援内容、安全計画等の資料化と周知</li> <li>SNSや通信等を活用した情報発信の強化</li> </ul> |
| 2 | 組織的な業務改善・情報共有体制の不足                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>職員間での振り返りや共有が個別対応に偏る傾向</li> <li>会議やPDCAサイクルの運用が十分でない</li> </ul>                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な振り返り会議・ケース検討会の実施</li> <li>情報共有ツールやフォーマットの統一</li> <li>職員意見を反映する仕組みの強化</li> </ul>  |
| 3 | 専門性向上・外部連携・家族支援の充実不足                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>外部研修や専門家からの助言機会が限定的</li> <li>家族支援や保護者同士の交流機会が不足</li> <li>地域連携や協議会参加が十分でない</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>外部研修参加や専門家連携の促進</li> <li>家族向け研修・情報提供の機会の創出</li> <li>地域会議や関係機関との連携強化</li> </ul>       |